



2015 -2016 年度

国際ロータリー会長：K. R. ラビンドラン「世界へのプレゼントになろう」
第2560地区ガバナー：山本 和則「夢（gift）を明日へ繋げよう」

三条北ロータリークラブテーマ「ロータリーの輪を広げよう」

会長：外山 晴一
幹事：渋谷 義徳
SAA：石川 一昭

例会日：火曜日12:30～13:30
例会場：三条ロイヤルホテル TEL.34-8111
事務局：三条市本町3-5-25三条ロイヤルホテル内
TEL:0256-35-7160 FAX:0256-35-7488



HP：<http://www.sajo-nrc.org>

AD：north@sanjo-nrc.org

本日の行事：

ソウル国際大会参加報告

- ◆本日の出席：67名中36名
- ◆先々週の出席率：67名中62名 92.54%
(前年同期 87.69%)

- ◆先週のメイクアップ（敬称略）
6月2日三条東RC 石川勝行、石川友意
山崎 勲、大野新吉
落合益夫、早川瀧雄

- ◆本日のオブザーバー：米山奨学生
ゴンザレスロドリゲス、ジョナタン君
5月29日ソウル国際大会で
ポリオについて語るラビンドラン会長



会長挨拶：外山晴一会長

（京都大学）



前は帝国大学の話をしましたので、今回は京都大学の話をします。

私は昭和41年に三条高校（三高）を卒業して、京都大学経済学部に入りました。京都大学は旧制第三高等学校（三高）と京都帝国大学が戦後一

緒になってできました。旧制三高は教養学部で帝国大学は学部になっています。ですから三高から三高に行ったともいえます。

京大は明治30年に日清戦争の賠償金で第二帝国大学として作られました。目的は日露戦争遂行勝利であり、まず理工学部が作られました。予算は東京帝大の半分で同じ課題を与えられ、東大と競争させられたため、東大に比べると独創的にならざるを得なかったわけです。教授は東大より若手の野心的研究者が来ました。また、「自由な学風」を建学時から校風にしていました。これが、ノーベル賞受賞者が多い理由に上げられています。

つまり東大は欧米の学問・研究をいち早くコピーし、紹介することを使命にしていたのですが、京大は独創的研究が出来ました。

また東大は官僚養成校としての使命もあり、学生は国家官僚を目指してトップで公務員試験に受かるため懸命に勉強しますが、京大は官僚になる人はほとんどいなく、自由に伸び伸び勉強していました。

私は経済学部で財政学のゼミでしたが、東大卒の官僚が作った予算を批判する批判財政学でした。作るの面倒でも批判するのは簡単です。当時経済学部はほとんどのゼミがマルクス経済学でした。これは昭和3年、マルクス経済学者の河上肇教授が官憲の圧力で大学を追われるという河上事件がありました。その頃からの伝統です。「河上祭」が経済学部の大きな行事でした。河上肇に憧れて来る学生も多かったです。「インテリゲンチヤの使命とは何か」が河上祭のテーマでした。答えは「インテリは権力に批判的であるべきだ」つまりは反権力です。京大で権力に迎合するような話は聞いたことがありません。大学でも、剣道をやっていました。最大の試合は対東大戦です。各運動部では一番重要な大会です。このように反東大、反権力が自由とともに京大の学風です。

幹事報告：渋谷義徳幹事

- ・三条市青少年健全育成市民会議より
平成28年度三条市青少年健全育成市民大会の協力依頼について
- ・社会を明るくする運動三条市推進委員会より 委員会開催について
日時 6月29日(水)10:00~11:30 会場 三条ものづくり学校
- ・地区米山奨学委員長より「第3回異文化相互理解セミナー」へ米山奨学生招聘のお願い
日時 2016年9月16日(金)12:30~
会場 燕中学校

理事会報告：第12回 平成28年6月7日(火) 11:30~12:30

出席者：外山晴一、金子太郎、丸山 勝、渋谷義徳、石川勝行、石川一昭、岡田 健
落合益夫、早川瀧雄、武田恒夫、今井克義、羽賀一真、岡田大介、佐藤秀一
オブザーバー山中 正 出席数：14/16 (内委任状1)

- 協議事項 1. 社会奉仕事業&30周年反省会決算報告 承認
2. 会長幹事SAA慰労会企画書の件 承認
6/28(火)18:30~餞心亭 おゝ乃
3. 報告事項
・熊本地震義捐金ガバナー事務所へ送金(10万円)
・緑の羽根募金 5/17例会時にBOXに協力いただいた22,700円を送金
・市内4RC合同公開例会に対して地区社会奉仕活動補助金を受領しました
(スマイルBOX会計に)
4. 30周年記念式典DVD配布の件 承認
参加会員に配布 30周年会計より支出



ゴンザレスロドリゲス、ジョナタン君が初めて、例会に出席してくれました。
1年間よろしくお願ひします。



カウンセラーから紹介



米山奨学生紹介：ゴンザレスロドリゲス、ジョナタン (メキシコ)

長岡技術科学大学 修士課程 環境社会基盤工学専攻
研究テーマ「季節橋梁に対する体力評価」

*******ロータリー財団ボックス7日現在累計455,000円*******

渋谷 義徳君 ソウル国際大会の報告を聞いて頂きありがとうございます。
丸山 勝君 財団協力します。
石川 勝行君 〃
坂内 康男君 6/5早川さんとヨネックスに行ってきました。大変楽しかったです。
本間建雄美君 BOXに協力
石川 友意君 BOXに

*******米山奨学ボックス7日現在累計534,000*******

- 中條 耕二君 ソウル国際大会、行けず残念。昨夜三条クラブの次期会長川瀬先生、関川幹事、明田川SAA3人とロータリーの進化について3時間話しました。
- 笹原 壯玄君 ソウル国際大会報告、お疲れ様です。
- 澁岡 茂君 佐藤さんにお付き合い
- 石川 一昭君 委員長に感謝して!
- 佐藤 弘志君 ソウル大会報告、ご苦労様です。

*******ニコニコボックス7日現在累計838,200円*******

- 外山 晴一君 最後の理事会が無事終わりました。
- 佐藤 弘志君 ニコニコBOX委員長に感謝して!
- 羽賀 一真君 先週土曜日、ヨネックスレディス2日目の観戦に行ってきた。昨年1年間だけで2億3000万円も稼いだイ・ボミ選手の18番イーグルを見る事ができました!イ・ボミ選手はテレビで見るよりずっと美人でずっとムチムチボディでした!
- 石川 一昭君 外山年度も残すところ、3回となりました。ニコニコBOXが今一と言う事ですので協力します。
- 佐藤 秀一君 石丸さん、ソウル国際大会出席おめでとうございます。
- 早川 瀧雄君 先々週、先週、欠席したのでお詫びとして一口
- 高橋 彰雄君 協力します。
- 笹原 壯玄君 BOXに協力!
- 外山 裕一君 //
- 岡田 健君 協力!
- 佐藤 義英君 イ・ボミのイーグルを見てきました。BOXに協力!
- 森 宏君 いよいよ最後の月になりました。最後までご協力宜しくお願いします。
- 石黒 隆夫君 新潟交響楽団第98回定期演奏会
6月19日(日)新潟県民会館
グリーグ ペールギュント
チャイコフスキー ロミオとジュリエット
ブラームス 交響曲第四番 です。



***5月のコメント賞は坂内康男会員です。**

本日の行事:「ソウル国際大会参加報告」



渋谷義徳幹事 「ロータリー国際大会(韓国)に参加してきました」

今年のロータリー国際大会は5月27日(金)~6月1日(水)の6日間に渡って韓国で開かれました。私がそのうちに参加したのは、大会3日目の5月29日(日)に行われた開会式だけです。出発前、結団式での山本ガバナーの挨拶で、今回の国際大会に日本各地区のロータリークラブを合わせると約10,000名の登録になり、2560地区からは150名を超える登録があり、地区主催の公式ツアーにも90名以上の参加をいただき、国外で開催された国際大会では過去最大の参加者数ですと感謝されていました。

三条北ロータリークラブからは外山会長、丸山副会長、石丸国際奉仕委員長夫妻、渋谷の5人で参加してきました。

5月28日(土)新潟空港発9:30大韓航空にて空路、ソウルへ、ソウル空港着11:45到着後、専用バス3台に分乗してソウル市内へ向かい、ソウル市内観光を楽しんだ後、宿泊



先のホテルに向かい、しばし休憩ののち、夕食に骨付きカルビ 1.5 人前を食し、三条東ロータリークラブの栗山会長、大竹幹事、長谷川会員と一緒に楽しい一夜を過ごさせていただきました。ソウルでの宿泊は2週間ほど前に完成したばかりの TMARK GRAND という真新しいホテルで快適に眠ることができました。

5月29日(日)はホテルを8:00に出発し、専用バスに1時間くらい乗って、大会会場である、韓国産業観光特区に指定されている高陽市に建設された国際展示、コンベンションホール「韓国 KINTEX (キンテック)」に着きました。KINTEX は68,000坪の広大な敷地に地上3階建ての施設が10ホール並んでいました。バスから降りて最初に驚いたのが駐車場に並んでいたバスの多さでした。

世界中から集まってきた訳だから、常時おそらく300台くらいは待機していたのではないかと思います。長蛇の列の順番を待ち大会登録を済ませ、いよいよ開会式への参加となりました。開会式は午前の部と午後の部の2回に分かれており、私たちは「韓国で世界とつながろう」をテーマにした1回目の午前の部に出席しました。開会式での K. R. ラビンドラン、RI 会長の挨拶によると、午前の部(1回目)は外国人ロータリアンが対象で28,000人の登録があり(そのうち10,000人が日本人ロータリアン)、午後の部(2回目)は地元韓国各地のロータリークラブから25,000人の登録があり、両方で53,000人の参加者になると会場のロータリアンに謝意を表されました。続いて国旗入場式となり世界各国の国旗が舞台に居並びとても感動的でした。残念ながら、私たちの座席がはるかに離れていたため、写真を撮ってもうまく写りませんでした。次に歓迎の辞として、スリランカの首相が「発展途上国と先進国

における役割」にふれて、ロータリークラブの社会奉仕事業に賛辞をおくられていました。

このあと、RI 会長とそのご家族の紹介があったので、国際大会ではこんな場面もあるのだと驚きました。最後に K. R. ラビンドラン会長の謝辞で締めくくられた後、余興として韓国を代表する若手女性ボーカリストの独唱を聞き終え、会場を出ました。昼食後、戻りの14:30まで時間がありましたので、プログラムにあった「友愛の家」を覗いてみましたが、簡単にいうと世界各国の名産品や工芸品の展示即売会と受け取りました。もう少し時間をかけて、みて回りたいのですが、出発時間が迫っていたので、上から覗きこむだけで引き上げたのが心残りでした。

3日目の5月30日(月)は9:00にホテルを出て、終日ソウル観光とショッピングが企画されておりましたので、南大門市場でのショッピング、景福宮、青瓦台、国立民族博物館などの見学を楽しんでから、ソウル空港発 18:35 の便で空路、帰国の途につき 20:30 新潟空港に到着し解散となりました。

初めての国際大会への参加でしたので、驚きと感動の連続でした。20,000人近くが一斉に集まるのだから当然なことなのかもしれませんが、とにかくものすごい光景でした。特に国旗入場式では、国際大会の雰囲気をも十分に味わうことができとても感動しました。また、K. R. ラビンド



ラン、RI 会長と潘 基文国連事務総長の挨拶の中で、「ポリオ撲滅 99%達成、残り 1%はアフガニスタンとパキスタンの 2カ国で 37,000人になった」とロータリーの国際奉仕活動の意義とポリオ撲滅の必要性を訴えていますが、日本でのポリオ撲滅にかける情熱との温度差を感じました。三条北ロータリークラブ会員の暖かい支援のおかげで、初めての国際大会への参加と、韓国旅行が経験できたうえに、多くのロータリークラブの人たちと交流することができ、大変有意義に過ごせたことに感謝をして報告を終わります。



丸山 勝副会長 <ソウル国際大会報告>

三条北ロータリークラブから外山会長・渋谷幹事・石丸国際奉仕委員長夫妻と私(丸山)の 5名で 5月 28日～5月 30日の 2泊 3日で参加しました。2560 地区より会員とご夫人含め 87名の参加です。私たちは 5月 29日の RI 国際大会開会本会議(午前 10:15～午後 0:30の時間)出席です。なにしろ参加者は午前部 25,000人ですので会場(KINTEX 国際展示場)は人と人で溢れていました。

また本会議終了後は友愛の家を見学しましたが、時間があまりなかったので入口から見た感じでは各国のバザールのようでした。天候もよく暑くて大変でした。

私は今回、国際大会に出席したのはロータリアンになったからには一度は国際大会に出席して雰囲気味わいたくて参加しました。会員の皆様もぜひ参加してください。

そして今回、外山会長のはからいで最終日にインチョンで外山会長の取引先のチョさんと 3人でゴルフを楽しんできました。特にチョさんはドライバーが私たちより 80ヤードぐらいオーバードライブです。お見事です。でも外山会長もドライバーでは負けましたがさすが会長、バーディーを取りました。今回のソウル大会は良い思い出になりました。



外山晴一会長 <ソウル国際大会>

ロータリーの国際大会に初参加しました。ロータリーのインターナショナリズムはどのように発揮されるのか興味がありましたが、各国の国旗入場とそれに伴う大拍手、特に台湾の時は参加者が際立って多い台湾のロータリアンが国旗である青天白日旗の小旗を振っての大歓声は国威発揚そのものでした。香港も国旗の小旗を振りまじりませんでした。印象に残る大歓声でした。両国とも中国の圧力を跳ね返したいとの気持ちが感じました。オリンピックのような気がしました。ナショナリズムの強い韓国での国際大会のせいなのでしょうか？

また、昨今はナショナリズムが大統領選挙でトランプ候補が健闘しているアメリカも含めた世界的傾向です。

来年の国際大会はアメリカです。インターナショナリズムを標榜するロータリー発祥の地アメリカでの国際大会でナショナリズムとインターナショナリズムがどのように発揮されるのか、ソウル国際大会に参加して興味が出てきて、是非参加したく思いました。インターナショナリズムが表面に出たとき出席する政界のロータリアンと共に歌える歌をそれまでに覚えておくと思っています。次年度の会長・幹事さんよろしくお願ひします。また、来年の国際大会の会場はジョージア州のアトランタです。同じ州にはゴルフの有名な試合であるマスターズが開催されるオーガスタがあります。チャンピオンコースでゴルフをしたいものです。

第 107 回ロータリー国際大会において、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長が、ポリオに打ち勝った自身の家族とロータリアンの話を紹介しました。



韓国で 6月 1日(水)に開催されたロータリー国際大会の最終日、K.R. ラビンドラン国際ロータリー会長が、30歳でポリオに感染した自身の母親について、KINTEX 会議場(韓国、高陽市)を埋め尽くした聴衆に語りました。母親がポリオに感染したのは、ラビンドラン会長が 11歳だったときのこと。母国スリランカで、ある朝に目覚めた母親は、体のだるさと息

切れを感じました。座ろうとすると、足が動かないことに気づきました。ポリオウイルスがあつという間に神経系を侵し、足がまひしていたのです。すぐさま入院し、呼吸をするために「鉄の肺」に入れられました。医者からは、もう二度と歩くことも、人口呼吸器なしに生きることもできないかもしれないと告げられました。しかし、1963年当時のスリランカには、人口呼吸器を備えている病院はありませんでした。母親が入院した日の晩、ロータリー会員だった祖父は、自宅の居間でクラブ委員会の会合を開きました。仲間の会員たちは、ただなぐさめる代わりに、仕事の知識や人脈を生かして、人口呼吸器を確保するためにすぐさま行動を起こしました。銀行マネージャーだった会員は、政府の高官に電話をして、すぐに海外に送金できるよう計りました。スイス航空のマネージャーだったもう一人の会員は、人口呼吸器を輸送する手はずを整えました。こうして、翌日には人口呼吸器が病院に届いたのです。「当時のスリランカでは何もかもお役所主義でしたが、ロータリアンたちはこれを取り払ったのです」と、会長は振り返ります。母親の入院生活は1年半続きましたが、徐々に回復し、退院時には歩行器を使って自身の足で歩くことができました。「53年前、おそらくロータリアンによってポリオから命を救われた最初の一人が、私の母だったのでしょう。以来、私たちは何百万という人の命を救ってきました」とラビンドラン会長。「今晚、母の息子として、そしてロータリーの会長として、皆さまの前に立ち、ロータリーが“ポリオのない世界”という永遠のプレゼントを贈る日が近づいていること、しかもそれは、数年先ではなく、数カ月先かもしれないということを申し上げます」前日の本会議では、米国疾病対策センターのレベッカ・マーティン氏も「ポリオ撲滅が非常に近づいている」と述べました。この本会議の前には、ロータリーが3500万ドルの追加補助金をポリオ撲滅活動に投入しました。ロータリー史上最高となる43,000人の出席者を記録した今国際大会では、150カ国以上から人びとが集まりました。ラビンドラン会長は、会長として最後のスピーチで、ロータリアンであることの真の意味は何なのかを強調しました。「この地球上には、皆さんの懸命な努力のおかげで、より良い人生を送れるようになった人が大勢います。その人たちが私たちの存在に気づいていなくても、私たちの名前さえ知らなくても、それは問題ではありません。大切なのは、皆さんの活動が人びとの人生に触れ、それによって人びとがより健康で幸せになったことです」



国連事務総長 潘基文氏

これまでで最も多くのロータリアンが出席し、多文化の非営利団体リーダーの集まりとしては韓国最大級のものとなった今大会では、国連の潘基文 事務総長が開会式に出席し、会場となったKINTEX 会議場（高陽市）に集まった何千人という出席者に語りかけました。「ロータリアンは素晴らしい活動を世界中で行っています。皆さんの活動は、国連が目標を達成し、世界からの理解を得る上で大きな力となっています」70年前の5月に国連創設のための話し合いに参加したアラン・アルバート元ロータリー会長について触れた潘氏は、次のように言いました。「人知の擁護者であるアルバート元会長は、一人ひとりが平和の推進力となるよう人びとに呼びかけました。このビジョンを実現させるために、私たちは協力して活動しています」2007年以来、国連のトップとしてその野心的な開発アジェンダの指揮にあたってきた韓国出身の潘事務総長は、ロータリーのリーダーシップと、人道的活動への懸命な取り組みに感謝を述べました。特に、ポリオ撲滅のための資金調達とアドボカシー活動におけるロータリーの貢献を強調しました。世界ポリオ撲滅推進活動（GPEI）におけるユニセフの役割に言及した事務総長は、「身体を麻痺させるこの病気を撲滅するために力になれることを、国連は誇りとしている」と述べました。「今後も闘いを続けなければなりません。引き続き声を大きくして、各国政府からの支援が必要であることを訴え、撲滅キャンペーンへの認識向上をご支援ください」地元韓国の文化にあふれた開会式では、正式な講演の前に、伝統的な太鼓と舞踊、武道、K-popといったパフォーマンスが披露され、聴衆の気分を高揚しました。